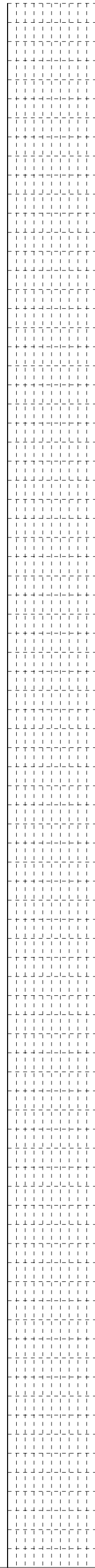


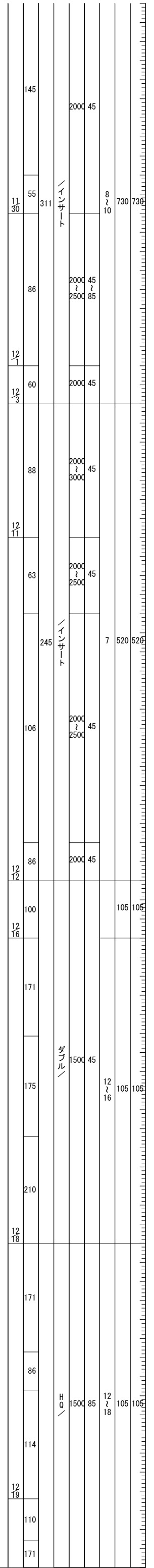
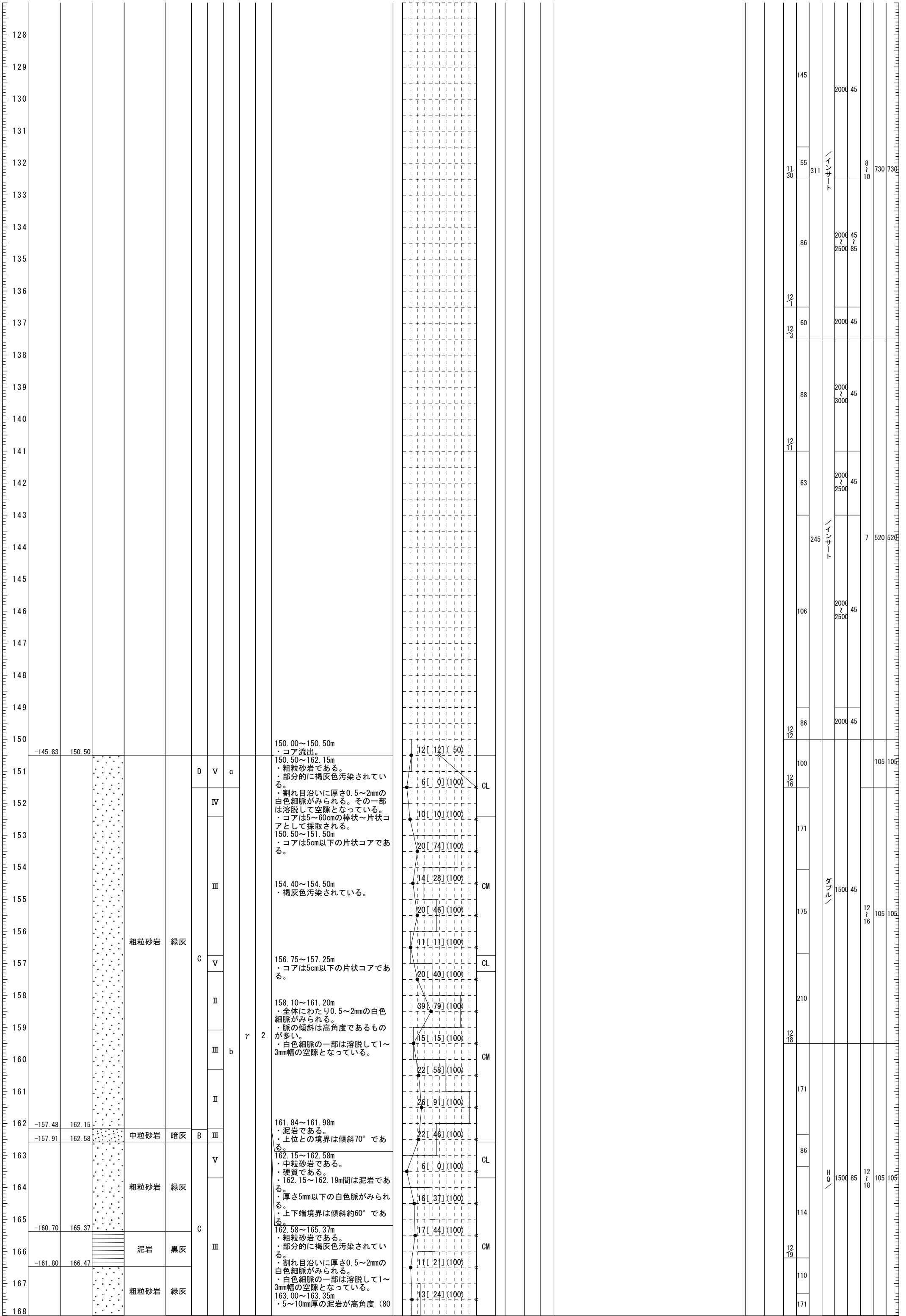
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36
37
38
39
40
41
42
43
44
45
46
47
48
49
50
51
52
53
54
55
56
57
58
59
60

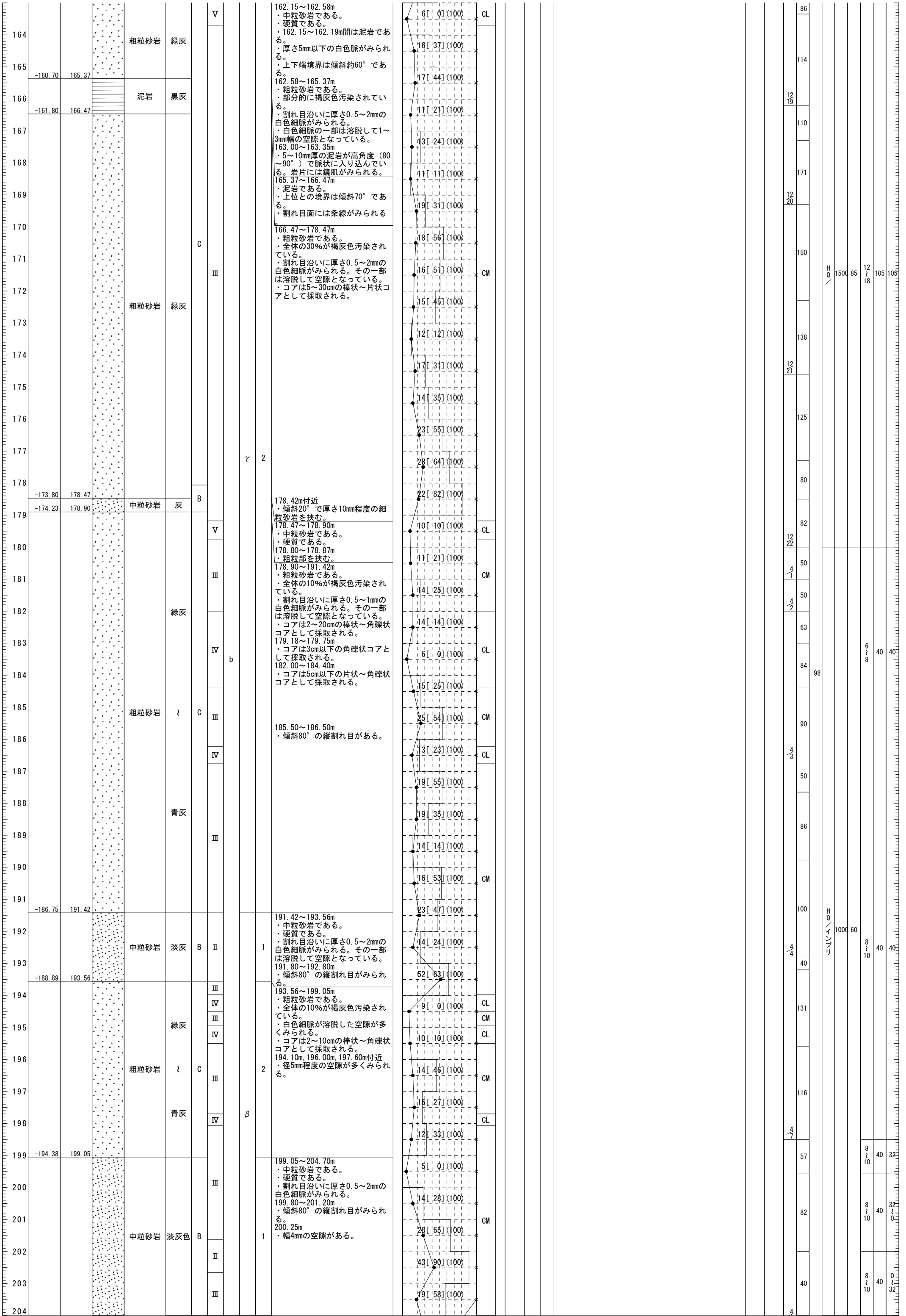


1200	1000	30
514		
400		
10 20		
514		
1200		
514		
10 21		
900		
720	425	
10 22		
900		
720		
10 23		
720		
720		
10 24		
900		
10 25		
900		
720		

マンハッタン・タワー・ビル

2000 30





162.15~162.58m
 ・中粒砂岩である。
 ・硬質である。
 ・162.15~162.19m間は泥岩である。
 ・厚さ5mm以下の白色脈がみられる。
 ・上下端境界は傾斜約60°である。
 162.58~165.37m
 ・粗粒砂岩である。
 ・部分的に褐灰色汚染されている。
 ・割れ目沿いに厚さ0.5~2mmの白色細脈がみられる。
 ・白色細脈の一部は溶脱して1~3mm幅の空隙となっている。
 163.00~163.35m
 ・5~10mm厚の泥岩が高角度(80~90°)で脈状に入り込んでいる。岩片には鱗肌がみられる。
 165.37~166.47m
 ・泥岩である。
 ・上位との境界は傾斜70°である。
 ・割れ目面には条線がみられる

166.47~178.47m
 ・粗粒砂岩である。
 ・全体の30%が褐灰色汚染されている。
 ・割れ目沿いに厚さ0.5~2mmの白色細脈がみられる。その一部は溶脱して空隙となっている。
 ・コアは5~30cmの棒状~片状コアとして採取される。

178.42m付近
 ・傾斜20°で厚さ10mm程度の細粒砂岩を挟む。
 178.47~178.90m
 ・中粒砂岩である。
 ・硬質である。
 178.80~178.87m
 ・粗粒部を挟む。
 178.90~191.42m
 ・粗粒砂岩である。
 ・全体の10%が褐灰色汚染されている。
 ・割れ目沿いに厚さ0.5~1mmの白色細脈がみられる。その一部は溶脱して空隙となっている。
 ・コアは2~20cmの棒状~角礫状コアとして採取される。
 179.18~179.75m
 ・コアは3cm以下の角礫状コアとして採取される。
 182.00~184.40m
 ・コアは5cm以下の片状~角礫状コアとして採取される。

185.50~186.50m
 ・傾斜80°の縦割れ目がある。

191.42~193.56m
 ・中粒砂岩である。
 ・硬質である。
 ・割れ目沿いに厚さ0.5~2mmの白色細脈がみられる。その一部は溶脱して空隙となっている。
 191.80~192.80m
 ・傾斜80°の縦割れ目がみられる。
 193.56~199.05m
 ・粗粒砂岩である。
 ・全体の10%が褐灰色汚染されている。
 ・白色細脈が溶脱した空隙が多くみられる。
 ・コアは2~10cmの棒状~角礫状コアとして採取される。
 194.10m, 196.00m, 197.60m付近
 ・径5mm程度の空隙が多くみられる。

199.05~204.70m
 ・中粒砂岩である。
 ・硬質である。
 ・割れ目沿いに厚さ0.5~2mmの白色細脈がみられる。
 199.80~201.20m
 ・傾斜80°の縦割れ目がみられる。
 200.25m
 ・幅4mmの空隙がある。

H
 1500 85
 12
 18
 105
 105
 12
 21
 125
 80
 82
 50
 50
 63
 84
 98
 90
 100
 1000 60
 8
 10
 40
 40
 131
 116
 4
 7
 57
 8
 10
 40
 32
 82
 8
 10
 40
 32
 0
 32
 40
 8
 10
 40
 0
 32

